

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理データ解析		必修(心) 選択(社.精)	2	1.2	前期
担当教員	研究室	電子メールID		オフィスアワー	
榎木 隆寿	B306	t.masaki		金曜日 14:40-16:40	
授業の目的・概要	<p>〈目的〉心理学研究におけるデータ解析の重要性を理解する。そして、基礎的な統計分析手法(データ整理、相関、<i>t</i>検定)について理解し、実際に行うことができるようになる。</p> <p>〈概要〉心理学の文献を読む、そして、心理学研究を実施する上で、統計学の知識は必須である。本講義では、心理学や関連分野においてどのように統計学が用いられているのかを、具体例を挙げながら説明する。また、受講者各自が実際のデータ解析を行うことにより、その理解を深めることを目指す。</p> <p>授業方法としては、配布資料と課題による遠隔授業、そして同時双方向型の遠隔授業を行う。メール、Microsoft Teams を利用し、課題のフィードバックや受講者の意見交換の機会を設け、データ解析に必要な知識と技術の定着を図る。</p>				
学習上の助言	数学の基本的な知識についても解説するので、苦手意識を持たず積極的な態度で受講することを望む。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書	はじめての心理統計法(改訂版) / 鶴沼秀行 他 / 東京図書 よくわかる心理統計 / 山田剛史 他 / ミネルヴァ書房				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理学研究における統計学の重要性を説明できる。			社(2)、精(2)、心(2)	
②	基本的な統計量の性質を理解し、算出することができる。			社(2)、精(2)、心(2)	
③	推測統計について理解し、推定・検定を行うことができる。			心(2)	
④	日常生活で見られる様々な統計指標について、正しく理解し説明することができる。			社(2)、精(2)、心(2)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション: 統計学の重要性、測定と数量化について学ぶ。 フィードバック: メールにて課題提出後に実施 意見交換の機会: メールにて課題提出後に実施	印刷教材等による授業	ガイダンス資料と補助資料を使用し学習を進める。ガイダンス資料に記載された課題に取り組む。	3.5	
2	記述統計と推測統計: 度数分布表とヒストグラムについて学ぶ。 フィードバック: メールにて課題提出後に実施 意見交換の機会: メールにて課題提出後に実施	印刷教材等による授業	ガイダンス資料と補助資料を使用し学習を進める。ガイダンス資料に記載された課題に取り組む。	3.5	
3	代表値・散布度 1: 平均値・中央値・最頻値について学ぶ。 フィードバック: メールにて課題提出後に実施 意見交換の機会: メールにて課題提出後に実施	印刷教材等による授業	ガイダンス資料と補助資料を使用し学習を進める。ガイダンス資料に記載された課題に取り組む。	3.5	
4	代表値・散布度 2: 分散・標準偏差について学ぶ。 フィードバック: メールにて課題提出後に実施 意見交換の機会: メールにて課題提出後に実施	印刷教材等による授業	ガイダンス資料と補助資料を使用し学習を進める。ガイダンス資料に記載された課題に取り組む。	3.5	
5	ヒストグラム、代表値、散布度を統合的に理解し、データの特徴を正しくとらえるための方法について学ぶ。 フィードバック: メールにて課題提出後に実施 意見交換の機会: メールにて課題提出後に実施	印刷教材等による授業	ガイダンス資料と補助資料を使用し学習を進める。ガイダンス資料に記載された課題に取り組む。	3.5	
6	正規分布・データの標準化 1: 分布と確率について学ぶ。 フィードバック: メールにて課題提出後に実施 意見交換の機会: メールにて課題提出後に実施	印刷教材等による授業	ガイダンス資料と補助資料を使用し学習を進める。ガイダンス資料に記載された課題に取り組む。	3.5	
7	正規分布・データの標準化 2: 標準得点について学ぶ。 フィードバック: メールにて課題提出後に実施 意見交換の機会: メールにて課題提出後に実施	印刷教材等による授業	ガイダンス資料と補助資料を使用し学習を進める。ガイダンス資料に記載された課題に取り組む。	3.5	

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

8	第 1 回目から第 8 回目の内容を振り返る。 相関 1：散布図、正の相関・負の相関・無相関、ピアソンの相関係数について学ぶ。	同時双方向型授業	散布図の作成方法、相関係数の算出方法を確認し、資料の練習問題に再度取り組む。	3.5
9	相関 2：順位相関、解釈の注意について学ぶ。	同時双方向型授業		4
10	推測統計 1：母集団と標本、中心極限定理について学ぶ。	同時双方向型授業	母集団と標本の関係性について整理し、区間推定の方法を資料の練習問題を繰り返し行い、確認する。	4
11	推測統計 2：点推定と区間推定、検定の方法について学ぶ。	同時双方向型授業		4
12	t 検定 1: データに対応がない場合の t 検定について学ぶ。	同時双方向型授業		t 検定の種類について整理し、資料の練習問題に再度取り組む。
13	t 検定 2: データ数が異なる場合の t 検定について学ぶ。	同時双方向型授業	4	
14	t 検定 3: データに対応がある場合の t 検定について学ぶ。	同時双方向型授業	4	
15	これまで学んだ統計学の知識、手法についての総合的な練習問題に取り組む。	同時双方向型授業	配布資料の練習問題に再度取り組む。	8
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	20	0	0	0	20
総合力指標	知識・技術力	30	10	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	30	10	0	0	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法	
試験	①	✓	講義内容の理解度について、学期末に定期試験を実施し評価する。各種統計手法の特徴を正しく理解し、適切な方法を自ら選択、実施できることが必要となる。	学内掲示、オフィスアワー、Microsoft Teams を利用して総評を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
レポート	①	✓	各テーマ終了時にその内容に関する課題を課し、これを評価する。各課題（計 3 回実施）には、実際の計算、そして分析結果の解釈が含まれる。	提出された課題については採点后、メールや Microsoft Teams を利用して返却を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	印刷教材等による授業では、メールで提出された課題の内容を採点する。授業の理解度、そして各自が調べた内容の妥当性や思考・推論力を評価する。 8 回目からの同時双方向型の授業では、講義中における練習問題や質疑応答等への取組みの姿勢・意欲を総合的に評価する。	講義中及びオフィスアワーにて総評を行う。メールや Microsoft Teams を利用して、個別にフィードバックを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			

備 考

ルート（√） 計算機能の付いた電卓（安価なものでよい）と配付した資料を毎回用意すること。

実践的授業の内容：架空データだけでなく、実社会のデータ、および講義中に収集したデータも用いて解析を行い、実用的な知識・技術の習得を目指す。

※学習課題・学習時間の欄に記載されている時間に加え、さらに 14 時間程度、フィードバックに基づいた課題の修正や、資料の復習を行い、内容の理解を深めてください。

※Microsoft Teams を使って同時双方向型の遠隔授業を行います。課題ダウンロードや動画視聴などがありますので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意してください。

※今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスが変更される場合があります。